



吉村長久，山崎祥光 編集

トラブルを未然に防ぐカルテの書き方

川崎誠治

本書は，北野病院の吉村長久院長と山崎祥光
 弁護士の編集で上梓されたものである。適切な
 カルテ記載の重要性を認識し，もともと関心を
 持っていたらよかった吉村院長が，医師の資格
 もあり臨床経験もお持ちの山崎弁護士にカルテ
 記載に関する講演を数多く依頼してきた。その
 講演の内容が土台となったのが本書である。こ
 のお二人の組み合わせこそが，独特の視点を持
 つ本書の出版を可能にしたといえる。北野病院
 医療安全管理室の先生方と山崎弁護士が中心に
 なり著述されているが，本書を読むと，「カル
 テ記載のない事柄はなかったことになる」とい
 うことがあらためて強く認識される。その他
 に，何となくそうではないか，あるいはぼんや
 りとどうなのだろう，と思っていたいくつかの
 ことが明瞭に説明・記述されており，大変参考
 になる。以下に例を挙げる。

- ・カルテと異なり，忌憚のない意見交換の場
 あるカンファレンスや医療安全事例検討会な
 どの議事録は開示の義務はない(むしろ開示
 すべきではない)。それと関連して開示・非
 開示の書類の区別を医療機関内できちんと定
 めておくべきである。
- ・カルテ改ざんと追記訂正は別である(改ざん

と思われるのをいわずに恐れて誤った記載
 をそのままにするのは問題である)。ただし
 追記訂正で望まれるのは，初めの記載から
 1～2日以内，トラブル発生以前である。

- ・暴言を繰り返したり大声を出す患者・家族と
 病院職員とのやりとりを録音する際には患
 者・家族の同意を得る必要はなく，同意を得
 なくても証拠として役立つ。
- ・救急受診患者の帰宅を認めるときには，重篤
 な疾病である可能性を低める事実・所見も意
 識してカルテに記載する。

きちんとカルテに記載するということは基本
 的に時間を要する作業になるが，医師および診
 療に携わるスタッフの時間とエネルギーはでき
 るだけ実際の患者診療に向けられるべきである
 ということが本書では強調され，チェックリス
 トを利用するなどの具体的で簡便なカルテ記載
 方法も示されており，現場に寄り添った視点が
 貫かれていることに感銘を受けた。

(三井記念病院院長)

●B5・頁216 2022年02月 定価:3,960円(本
 体3,600円+税10%) [ISBN978-4-260-
 04806-4] 医学書院刊